

財政のあらまし

（平成十九年十二月）

# 財政のあらまし

平成19年12月

山梨県

山梨県

# ま え が き

この「財政のあらまし」は、県の財政がどのように運営され、どのような状況にあるかを県民の皆様幅広く知っていただくため、毎年6月と12月に公表しているものです。

今回は、平成18年度決算状況のほか、平成19年度の9月補正予算の状況につきまして、その概要をご説明いたします。

平成18年度は、県税は主要企業の業績の好調などにより、法人事業税が伸び増収となったものの、地方交付税や臨時財政対策債が減少するなど厳しい財政状況であったことから、公共事業の抑制等による投資的経費の減や事務事業の見直し等による経費の節減を行う中で、新規施策の着実な推進に努めてきたところであります。

平成19年9月補正予算は、産業集積の促進や雇用の創出を図るための立地企業に対する助成金、山梨リニア実験線建設促進のための関連公共施設整備に要する経費など早期に予算対応の必要な事業について計上し、「暮らしやすさ日本一」の実現につなげて参ります。

本県財政につきましては、歳入面では、県内景気の緩やかな回復に向けた動きを反映し、県税収入の一定の増加は見込めるものの、地方交付税や臨時財政対策債については、引き続き減少が見込まれる状況にあります。

また、歳出面においては、老人医療や介護保険に要する経費等の義務的経費が増嵩し、これまで以上に財源の確保が困難な状況にあり、一段と厳しい財政運営が予想されるところであります。

このため、歳出・歳入一体改革などの国の動向を見極めながら、徹底した歳出の見直しによる財政の健全化を図り、将来にわたり安定した財政運営を推進するため、新たな行政改革大綱を着実に実施していくこととし、これまで以上に事業の成果や施策の優先度を厳しく精査して、財源の重点的、効率的配分を行うなど創意と工夫を重ね、県民が真の豊かさを実感できる「暮らしやすさ日本一」の実現に向け、積極的に施策を展開して参ります。

今後とも、県民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成19年12月

山梨県知事 横 内 正 明



# 目 次

## 平成18年度決算の状況

1 一般会計	2
(1) 概況	2
(2) 歳入決算の状況	4
県税	5
地方消費税清算金・地方譲与税・地方特例交付金・地方交付税	7
使用料及び手数料	8
国庫支出金	9
財産収入・諸収入	10
県債	11
(3) 歳出決算の状況	13
目的別決算	13
性質別決算	15
人件費	17
物件費	18
扶助費	18
補助費等	19
普通建設事業費	20
災害復旧事業費	23
公債費	24
その他	26
2 特別会計	27
3 普通会計	28
(1) 歳入決算の状況	28
(2) 歳出決算の状況	30

平成19年度補正予算の状況

1 9月補正予算の概要 ..... 36

県有財産の状況

1 公有財産 ..... 40

2 債権 ..... 43

3 基金 ..... 45

公営企業の経営状況

電気事業 ..... 48

温泉事業 ..... 54

地域振興事業 ..... 59

病院事業 ..... 65

資料編 ..... 71